

旧ユーゴスラヴィア民族共栄オーケストラ

バルカン室内管弦楽団東京公演2016

旧ユーゴスラヴィアの民族共栄を目指したバルカン室内管弦楽団が、
いまやバルカン半島を代表するオーケストラへと変貌を遂げつつあり、大きな注目を集めている!!

ナビゲーター
辰巳 琢郎

指揮
柳澤 寿男
バルカン室内管弦楽団音楽監督

ピアノ
清水 和音

トランペット
アレクセイ・トカレフ

管弦楽
バルカン室内管弦楽団

和田 薫
弦楽オーケストラのための「響画」

ショスタコーヴィチ
ピアノ協奏曲第1番 ハ短調 作品35

ベチャリ コソボ作曲家
スピリット・オブ・トラディション

チャイコフスキイ
弦楽セレナーデ ハ長調 作品48



Takuro Tatsumi



Toshio Yanagisawa



Kazue Irimixu



Alexei Tokarev

2016年 **6月10日[金]**
18:30開場 19:00開演

第一生命ホール

晴海トリトンスクエア内

全自由席

一般4,000円 高校生以下2,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

●チケットお問い合わせ

指揮者柳澤寿男後援会 090-7009-6985

toshio.kouenkai@docomo.ne.jp

または

バルカン室内管弦楽団日本公演・
ジュネーヴ公演2016実行委員会
(学習会音楽アカデミー内) 06-6347-7911

[主催]

バルカン室内管弦楽団日本公演・ジュネーヴ公演2016実行委員会／信濃毎日新聞社／公益財団法人信毎文化事業財団

[特別協賛]

日野自動車株式会社／株式会社龍角散(50音順・敬称略)

[企業団体協賛]

アサヒグループホールディングス株式会社／上野製薬株式会社／株式会社木屋製作所／株式会社廣建／佐藤製薬株式会社／ジェイ・バス株式会社／株式会社塩田商会／JAWKインターナショナル／株式会社晋遊舎／セイコーワン株式会社／双日株式会社／大同メタル工業株式会社／大日本除虫菊株式会社／中央精機株式会社／中日輪船商事株式会社／東京杉並ロータリークラブ／トヨタ自動車株式会社／日本たばこ産業株式会社／一般社団法人日本保釀支援協会／株式会社フジタプランニング／フタバ産業株式会社／株式会社ブルボン／三菱重工業株式会社 ほか

古屋文男

井田純一郎／中川幸弘／永田次郎

独立行政法人国際交流基金／一般社団法人東京俱楽部
指揮者柳澤寿男後援会／指揮者柳澤寿男諏訪後援会

[特別個人協賛]

学習会音楽アカデミー／KSボランティア／ポド・リポムの会

[個人協賛]

[助成]

[後援]

[協力]

学習会音楽アカデミー／KSボランティア／ポド・リポムの会





2013年8月11日17:10新宿モア4番街第九フラッシュモブで始まった「世界平和コンサートへの道」プロジェクト。昨年2015年に第1回となるWorld Peace Concert in Belgrade 2015が旧ユーゴスラヴィアの首都ベオグラードで開催された。今秋10月にはスイス・ジュネーヴにおいて国連欧州本部公演とヴィクトリアホールでのWorld Peace Concert in Geneva 2016を予定している。ジュネーヴ公演を目前にバルカン室内管弦楽団の来日公演が実現!!旧ユーゴスラヴィアの民族共栄を目指したバルカン室内管弦楽団が、いまやバルカン半島を代表するオーケストラへと変貌を遂げつつあり、大きな注目を集めている!!

辰巳 琢郎 ナビゲーター

大阪市出身。京都大学文学部卒業。大学在学中は『劇団そとばこまち』を主宰し、関西の学生演劇ブームを創出。卒業と同時にNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』にて全国区デビュー。以来、知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として幅広く活躍中。食通、ワイン通としても知られ、日本ソムリエ協会名譽ソムリエ、日本ワインを愛する会副会長のほか、海外のワイン騎士団からも数々の騎士号を贈られている。また、『くいしん坊!万才』(フジテレビ)以来、地域おこしにも熱心で、2011年より観光庁アドバイザーに就任。自ら企画、出演する『辰巳琢郎の葡萄酒浪漫』(BSジャパン)が好評放映中。クラシックのアーティスト達との交流も深く、コンサートの司会や演出も数多い。C S クラシカジャパンにて『クラシック新時代』のナビゲーターを2年間担当。『ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2015』ではアンバサダーも務めた。NHK朝の連続テレビ小説『あさが来た』眉山栄達役が記憶に新しい。著書には『道草のすすめ』、『ゼロから始めるワイン入門』、『ほんとうは教えたたくない京都の路地裏』他。国連WFP協会顧問。近畿大学芸文学部客員教授。日本棋院評議員。

清水 和音 ピアノ

ジュネーブ音楽院にて、ルイ・ヒルトプラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、ロン=ティボー国際コンクール・ピアノ部門で優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ、指揮者と共に演奏し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。95年から2年にわたり行われたベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。2004年からはショパンの全曲録音を開始するなど、CDも多数リリース、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏すると言う快挙を成し遂げた。2014年から2018年までの5年間の年2回、新たなリサイタル・シリーズ『ピアノ主義』では様々な楽曲に挑んでいる。

アレクセイ・トカラフ 元サンクト・ペテルブルグフィルハーモニー・アカデミー交響楽団首席トランペット奏者

ロシア、サンクト・ペテルブルグ(旧レニングラード)生まれ。国立サンクト・ペテルブルグ音楽院3年生在学中に、サンクト・ペテルブルグフィルハーモニー・アカデミー交響楽団に入団。のち同オーケストラのトランペットセクション首席奏者となる。99年にオーケストラを退団、日本に住居を移し新たな音楽活動を始めた。これまでに海上自衛隊・東京音楽隊のファミリー・コンサート、秋田ロシア音楽祭、霧島音楽祭、軽井沢音楽祭をはじめ、各地の吹奏楽フェスティバルや音楽祭にソリストとして出演。日本音楽コンクールや日本管打楽器コンクールの審査員を務めた。また全国各地でリサイタルを開催。首都圏では、目黒バーシモンホール、藤沢リラホール、川口リリアホール、横浜みなとみらい小ホール(2016年2月)、横浜・杉田劇場(2016年4月)など。マイスター・ミュージックより4枚のソロCDがリリースされている。

柳澤 寿男 指揮者、バルカン室内管弦楽団音楽監督

旧ユーゴを中心に活動する日本人指揮者として知られる。2005-2007年マケドニア旧ユーゴ国立歌劇場首席指揮者。2007年、国連コソボ暫定行政ミッション統治下のコソボフィル響首席指揮者に就任。同時にサンクト・ペテルブルグ響、プラハ響、フラデツ・クラロヴェ響、西ボヘミア響、ベオグラード国立歌劇場、セルビア国立放送響、サラエボフィル、アルバニア国立放送響などに客演。2007年、バルカン半島(特に旧ユーゴ)の民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団(以下BCO)を設立。2009年にはコソボ北部ミトロヴィツァにおいて、国連、軍隊、警察などの協力を得て、コソボ紛争後初となる民族混成オーケストラによるコンサートを実現。コンサートの様子は日本の高等学校教科書「世界史A」(実教出版)にも記載されている。2010年にはニューヨーク国連総会に伴うイベントで演奏を披露。2011年、ウイン楽友協会ホールでの公演を実現。同年、国連とともに教育を受けないロマ民族の子供たちとのコンサートを開催。2013年8月11日の新宿駅東口モア4番街「第九フラッシュモブ」イベントから「世界平和コンサートへの道」プロジェクトを始動。2015年からはWorld Peace Concertとして年に一度世界各国でのコンサートを開催している。オープニングコンサートはヴァイオリニスト内晶子氏との共演とともにベオグラードで開催。BCOは旧ユーゴ崩壊後の断絶された文化圏の貴重な架け橋として存在している。柳澤寿男とBCOの活動は、NHK総合テレビ、NHK BS1、TBSテレビ、フジテレビ、日本テレビ、テレビ東京など多くのメディアで報道され続けている。また国内では、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京都響、東京シティフィル、新星日響、札幌響、仙台フィル、群馬響、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、関西フィル、日本センチュリーリング、兵庫芸術文化センター響、九州響、アンサンブル金沢などに客演。著書に「バルカンから響け!歓喜の歌」(晋遊舎)。CD「戦場のタクト~The HARMONY of Co-Prosperity」(キングレコード)をリリース。現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督、コソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名譽首席指揮者、二շյան交響楽団首席客演指揮者。

バルカン室内管弦楽団

バルカン室内管弦楽団は、2007年に日本人指揮者柳澤寿男によってバルカン半島(特に旧ユーゴ)の民族共栄を願って設立された室内管弦楽団。2009年5月、コソボ北部ミトロヴィツァにおいて、UNDP国連開発計画コソボ、ABD特定対象地域プログラム、UNKT国連コソボチーム、KFOR国際安全保障部隊、コソボ警察などの協力のもと、コソボ紛争後初となる、民族混成オーケストラによる歴史的コンサートを実現。2010年、ニューヨーク国連総会に伴うイベント「バルカン・リーダーズ・サミット2010」に招かれ、バルカン各大大統領、首相をまえに演奏を披露。2011年、ウイン楽友協会ホールでの公演を実現。同年、国連とともに教育を受けないロマ民族の子供たちとのコンサートを開催。このほか2009年、2012年、2014年には来日公演も果たしている。2015年にはベオグラードに於いて、World Peace Concertを開催し、ヴァイオリニスト内晶子氏と協演。「世界市民」をメッセージとしたWorld Peace Concertは一年に一度世界各地で開催される。今年はジュネーヴにおいて、国連欧州本部公演とヴィクトリアホールにおいてピアニスト、ベーター・ヤブロヌスキー氏との協演が予定されている。バルカン室内管弦楽団は旧ユーゴ崩壊後の断絶された文化圏の貴重な橋渡しどもなっており、旧ユーゴ中南部のすべての主要オーケストラから参加するピアニスト、ベーター・ヤブロヌスキー氏との協演が予定されている。バルカン室内管弦楽団はまさにドリームオーケストラとして、もはや旧ユーゴ、東欧随一のクオリティを持ってオーケストラのひとつへと成長しつつある。楽団員にはこれまでに、セルビア人、アルバニア人、マケドニア人、ボスニア人、クロアチア人、スロベニア人、ギリシャ人、ブルガリア人、ルーマニア人、トルコ人などが参加。またベオグラード、スコビエ、ティラナ、ブリュッケン、ミトロヴィツァ、ズベチャン、サラエボ、ウィーン、ニューヨーク、東京、名古屋、岡谷、松本、金沢などのコンサートを実現している。いかなる国にも本拠地を置かないバルカン室内管弦楽団は、音楽が共通の言語、共通の感覚として人々の心を繋いでいくことを強く願っている。

[バルカン室内管弦楽団日本公演・ジュネーヴ公演2016を応援する会] (50音順・敬称略)

逢沢 一郎(日本セルビア友好議員連盟会長)

柴 宣弘(東京大学名誉教授、ECPD国連平和大学(ベオグラード)客員教授)

明石 康(公益財団法人 国際文化会館理事長)

谷垣 穎一(日本クロアチア友好議員連盟会長)

阿部 俊哉(独立行政法人 国際協力機構 バルカン事務所 所長)

角崎 悅子(公益財団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン理事)

緒方 貞子(元独立行政法人 国際協力機構理事長)

角崎 利夫(元在セルビア兼モンテネグロ日本国特命全権大使)

鎌田 實(医師・作家)

日野原 重明(聖路加国際大学名誉理事長)

近衛 忠輝(日本赤十字社社長・赤新月社連盟会長)

美根 慶樹(元在ユーゴスラヴィア日本国特命全権大使)

塩崎 恭久(日本スロヴェニア友好議員連盟会長)

山崎 日出男(前在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国特命全権大使)

ほか調整中